

姉妹都市カンヌ市長が 20 年ぶりに来静 ～ 政策研究に関する覚書を締結します ～

1 カンヌ市長来静

- 来静期間 平成 30 年 10 月 6 日（土）～ 7 日（日）
- 来静者 カンヌ市長夫妻及びカンヌ市職員 2 名 計 4 名
- 視察先 羽衣まつり（「エレーヌ夫人顕彰式」「三保羽衣薪能」）
東海道広重美術館など
- 覚書締結 防災や観光・文化などの互いの得意分野における政策の理解を深め、共に発展していくことを目指して、政策研究に関する覚書を締結
- カンヌ市 人口：約 7 万人
面積：約 20 km²
カンヌ市が、日本の東京付近で海岸を持つ都市との姉妹都市提携を希望し、1991 年に本市と姉妹都市を提携

《カンヌ市長 David Lisnard（ダビッド・リスナル）氏》



1969 年 2 月 2 日生まれ（49 歳）

2014 年－：カンヌ市長
兼 アルプ・マリタイム地方行政区議院 観光担当副議長
兼 コートダジュール地方観光委員会 委員長（2015 年－）
兼 フランス自治体財務委員会副会長（2017 年－）

2 第 6 回日仏自治体交流会議

- 開催日 平成 30 年 10 月 9 日（火）～ 11 日（木）
- 開催地 熊本市（会場：ホテル日航熊本）
- 主催者 日仏自治体交流会議推進委員会（日仏共催）
- 市長役割 全体会：基調発表、分科会：座長

～日仏自治体交流会議とは～

姉妹都市関係等にある日仏両国の自治体の首長等が一堂に会し、両国の自治体が抱える共通の課題について議論することを目的に、2 年に一度、日本とフランスで交互に開催しています。日仏交流 150 周年を記念し、平成 20 年 10 月にフランス・ナンシー市で、互いに姉妹都市関係にあるナンシー市と金沢市の両自治体の呼びかけにより、第 1 回目の会議が開催されました。

本市は、2022 年の第 8 回日仏自治体交流会議の開催を誘致するため、本市の姉妹都市であるカンヌ市との交流を促進し、連携を深めていきます。

【参考】その他の姉妹都市

アメリカ

- ・カリフォルニア州ストックトン市（姉妹都市提携：1959 年 10 月 16 日、人口約 31 万人）
- ・ネブラスカ州オマハ市（姉妹都市提携：1965 年 4 月 1 日、人口約 45 万人）
- ・インディアナ州シュルビービル市（姉妹都市提携：1989 年 11 月 3 日、人口約 2 万人）

担当：観光・国際交流課

TEL：054-221-1423